平成最後の冬に翔けよ

大学入試センター試験まであと１ヶ月・頑張れ３年生

進路ジャーナル

第 109 号

平成30年12月18日

編集発行

磐城桜が丘高等学校

進路指導部

印刷 ㈱ネクスト情報はましん

一月十九日（土）・二十日（日）に、いわき明星大学を会場に大学入試センター試験が行われます。赤本部屋前の廊下にも、カウントダウンが表示されていますね。本校からは二五三名が受験を予定しています。センター試験後はすぐに私立大学入試が始まり、国公立大学一般入試前期試験、後期試験と続きます。多くの三年生にとっては、いよいよ進路目標を実現される大事な時期を迎えました。悔いが残らないように慎重に準備して臨んでください。

センター試験は二日間の体力勝負となります。体調もベストの状態で普段の力が発揮できるように心がけてください。また、センター試験終了後は一月二十一日（月）が自己採点となります。センター試験の結果が各自に届くのは卒業後の四月中旬以降になるため、センター試験の自己採点をもとに国公立大学等への出願を検討することになります。

大学入試センター試験に向けて

センター試験は特殊な試験です。独自の出題方式に慣れていないと、せっかくの実力がほとんど発揮できないこともあります。また、スピードが問われる試験です。日ごろから時間を守ることができる生徒は常に時間を意識して行動しているので、試験時間を有効に使う力が育まれます。得点が伸びない人は、こんな生活をしていませんか?

□不安に飲まれて、目の前の問題に集中できない。

□「何をやるか」に悩んで、時間を浪費する。

□過去問を解きまくるが、解き直しなど復習をしない。

□無計画に新しい教材に手をつけ、最後までやらない。

□生活リズムが一定でなく、心身の状態も安定してない。

□時間にルーズで自分の立てたスケジュールを守れない。

センター試験に向け効率的に準備を進めるために、次のことを意識して生活してみよう。

□起床時間・就寝時間は断固死守する。

□悩みを相談できる頼れるコーチを見つける。

□受験を一人で戦おうとせず、周囲と励まし合い、高め合う。

□短時間の休憩を充実させ、上手にメリハリをつける。

□毎日一〇分、散歩して気分をリフレッシュ。

□つらくても笑顔をつくって気持ちを前向きにする。

規則正しい生活で、心・体・環境を整えてセンター試験に臨もう。

（「蛍雪時代」より一部抜粋）

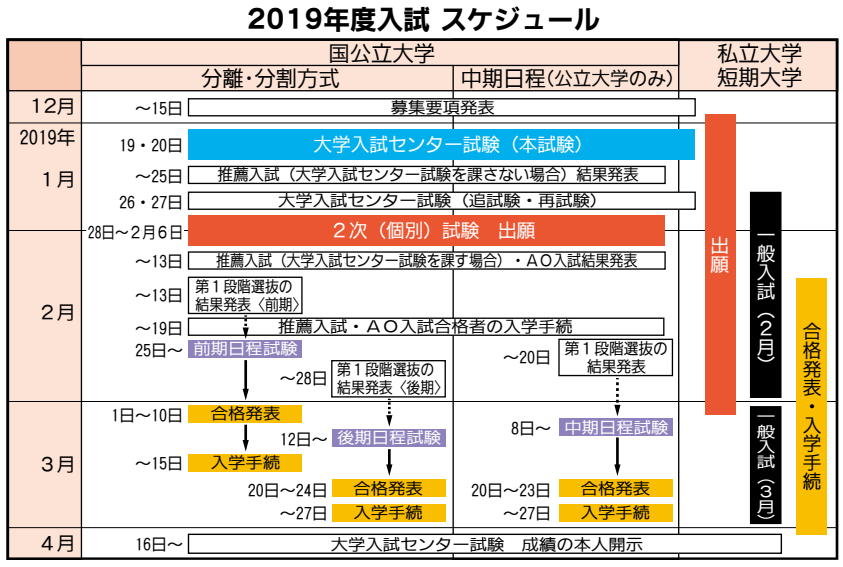
散歩のついでに富士山に登った人はいない。登ろうと決意した奴だけが登ったんだ。志を立てて励みなさい。

（読み人知らず）

大学入試センター試験　日程

試験日	試験教科・科目		試験時間	配点
第１日	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」『倫理、政治・経済』	2科目選択 9:30～11:40 1科目選択 10:40～11:40	200点（2科目選択） 100点（1科目選択）
	国語	『国語』	13:00～14:20	200点
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	筆記 15:10～16:30 リスニング『英語』のみ 17:10～18:10	200点（筆記） 50点（リスニング）
第２日	理科①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30	100点
	数学①	「数学I」『数学I・数学A』	11:20～12:20	100点
	数学②	「数学II」『数学II・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』	13:40～14:40	100点
	理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」	2科目選択 15:30～17:40 1科目選択 16:40～17:40	200点（2科目選択） 100点（1科目選択）

2019年度入試 スケジュール



夢を叶える 三学年担任から一言

近藤　亜紀
勉強がこんなにできて幸せ!!ですね。まだまだ伸びしろあり。どこまで成長できるか、楽しみです!

根本　裕文
受験は一人の闘いですが、みんなの周りには支えてくれる人たちがきっといる。そんな一番近いところにいる人たちは、みんなの苦しさを分かち合うことができないけど、わかろうとはしている。見守っている。だから一人じゃない。だから感謝して、前に進もう。

小沼　仁一
入試が近づくにつれて、不安や焦りもあるかもしれませんが、皆さんの学力は、まだまだ伸びます。一方で、これまでとは比較にならない程多くの内容が解ってきて、楽しさも感じられるはず。楽しい気持ちを意識して、最後まで全力で突っ走って下さい。

大川原　聡
受験日が近づき不安におびえながら勉強に励んでいる人も多いかと思います。
良く考えると、不安になる必要は全くないですよ。全力を尽くして、出た結果で進学先を決めればいいんです。進学先でどう過ごして、将来どうなっていくのかの方が心配なくらいですね。受験の結果で人生のすべてが決まるわけではありません。何も考えずに今の実力をすべて出し切ることに集中しましょう。

木幡　修三
今までやってきた事を信じ、最後まで諦めず努力し続けていきましょう!!　"克己心"

髙橋真由美
案ずるより産むが易し。不安になったらとにかく鉛筆を握ろう。

伊藤　千晶
入試本番まで残りわずかです。自信を持って当日を迎えられるよう、今できることに全力で取り組みましょう。

大学入試センター試験に向けて

進路指導主事　今村義泰

二〇一九年度大学入試センター試験が目前に迫ってきました。一月十九日(土)・二十日（日）は全国の受験生にとって最大の決戦の日になります。今年本校から挑むのは二五三名、三年生の実に九十四%が冬の陣に臨みます。多くの三年生はこの日を入学以来の目標に定め、日々の学習に励んできたことと思います。当日はこれまでの努力の成果を存分に発揮してほしいと心から願っています。

そもそもセンター試験は高等学校での学習到達度を測る試験です。出題範囲は教科書の内容からと決まっていて、難問奇問の類は一切なく、平均点も六割前後に設定されていることから決して難しい試験ではありません。その意味では校内で行われる定期考査の延長かつ集大成のような試験であり、一年生の時から具体的な目標を定めて計画的に取り組んでおけば極端に恐れることはありません。つまり受験生としてどんな三年間を送ってきたか、その真価が問われるのです。結果は過程の積み重ねでしかありません。肝心なのは自分が合格に値する人間になっているかです。

試験当日まで一ヶ月となった今、特別な準備はもはや必要ありません。一度も習っていないことはセンター試験には出ません。したがってこれからやることはこれまで頑張ってきたことの復習です。冬季課外で配付されるテキストやプリントを除けば新しい問題集も参考書も必要ありません。自分が愛用してきたテキスト、参考書、問題集、模試問題との「友情」を再確認していけば十分な成果が得られます。これまでも散々聞かされてきたように現役生は最後まで伸びます。とりわけ桜が丘生はこれまで力を蓄えていたぶん、ゴール直前での伸びしろがより期待できます。

困難をともに戦ってきた仲間を信じ、ここまで支えてくれた家族や先生方を信じ、そして何より自分を信じて、まずは第一関門を突破してください。

あえて言います。たかがセンター試験です。万が一失敗したとしても命を落とすわけではなく、人生がここで決まるわけでもありません。当日緊張してしまって思うように実力が発揮できない人もいますが、緊張とは自分が努力してきたことを自分が一番分かっているからこそ生まれるものです。だから安心して好きなだけ緊張すればいいんです。そうした自覚さえあれば大きな失敗をすることはないはずです。

志望校に入学するにふさわしい自分になれた時、「合格」の二文字は向こうからやってきます。これまでの自分の取り組み、先生方と学校の熱意、友達や家族と語り合った夢や希望を信じるのみです。

最後に、最も留意することは当日までの健康管理です。規則正しく生活し、万全の体調で最高の結果が出せるよう細心の注意を払って下さい。受験生諸君の健闘を祈ります!

変わる!新入試制度

「センター試験」が廃止され、「大学入学共通テスト」に変わる

二〇二一年度入試から「大学入学共通テスト」が始まります。大きく変わるのは次の三点です。

①思考力・判断力・表現力をより重視

マークでも思考力・判断力・表現力を問う出題がなされます。特に、「社会との関わり」を意識した出題や複数の資料を読み取り情報を統合・考察する力をみる出題が考えられます。

②国語・数学で記述式問題の導入

【国語】
二〇～三〇字程度、四〇～五〇字程度、八〇～一二〇字程度を記述する問題がそれぞれ一問ずつ出題される。
試験時間は一〇〇分に延長。

【数学】
「数学I」「数学IA」において数Iの範囲で三題程度出題。記述式問題はマーク式問題と混在する形での出題となる。
試験時間は七〇分に延長。

③英語は民間の四技能検定試験も活用

「大学入学共通テスト」で出題されるマーク式問題に加えて民間の英語外部検定試験が課されます。

英語外部検定試験の受検は高三の四月～十二月の二回までで、それ以前に受検したものは対象になりません。なお、国公立大学受験においては共通テストと外部検定試験のいずれも受験することが課されています。

推薦入試・AO入試・一般入試の入試区分を問わず学力の三要素を評価するようになる

これまで推薦入試・AO入試・一般入試と呼ばれていた入試区分においても名称が変更され、それぞれ特性に沿って多面的・総合的な能力や適性を評価する試験へ変更されます。

「推薦入試」→「学校推薦型選抜」

「AO入試」→「総合型選抜」

「一般入試」→「一般選抜」

「学校推薦型選抜」の出願時期は十一月以降で、大学入学選抜において、推薦書に本人の学習歴や活動歴を踏まえた「学力の三要素」に関する評価を活用することが必須化されています。

また、「総合型選抜」の出願時期は現行より遅い九月以降で、本人の記載する資料（活動報告書・志望理由書・学びの報告書等）を積極的に活用することとなっています。

なお、国公立大学においては推薦・AO入試の定員を最終的には三〇%まで引き上げることを目標にしています。

「一般選抜」の試験は二月以降で、従来は筆記試験のみで評価されていたが、今回はそれに加えて「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をより積極的に評価するため、調査書や志願者本人が記載する資料等の積極的な活用を促すとしています。また、出題科目が一から二科目と少ないケースは見直し、マークのみの入試は記述式問題の導入や充実をはかり、英語を課す場合は四技能を総合的に評価する等新たな取り組みがなされる方針です。

冬季課外

■第三学年

「センター試験に向けて」

年間一〇回の模試に、早朝・放課後課外、講座制と、どの教科・科目についても、ある程度の量の問題演習は既に終えることができました。しかし、これまで思うような結果が出なかったとしても、焦る必要はありません。新たに何かを始める必要もありませんし、テキストの最初からやり直す必要もありません。

それよりも、センター試験に向けてこの冬休みにやるべきことと言えば、まず、全力で問題を解く訓練を繰り返すことです。落ち着いて冷静に、同時に若干解答スピードを早目に設定してはどうでしょうか。不安な問題三～四問を見直すことができる程の時間配分が適切だと思います。二つ目は、集中力をコントロールすることです。当然ミスはもったいないし、ミスゼロを目指して集中しなければなりません。全ての問題に対して、頭脳を駆使して自分なりに納得の行く解答の導き方ができなければなりません。そのためにも諦めずに集中することが大切です。三つ目は、誤答してしまった問題や弱点分野を補強して行くことです。ただし、適切な時間内で理解できるもののみで十分で、ある程度時間をかけても理解できないものは捨てましょう。全ての科目で満点を目指す必要はありませんので。

既に皆さんの頭の中にはある程度の知識は入っているはずです。あとはそれらの知識をフル活用できる状態にできるかどうかが大切です。それには、これまで努力してきたことに自信を持って、そして、問題演習の中でも、これまでと同様に繰り返し学習を最後まで真剣に根気強く取り組みましょう。毎年何人もの生徒が残り1か月で大幅アップに成功しています。今年は全員揃ってそうなってほしい！最後まで諦めずに頑張ろう!!

国語

センター試験に向けて、問題演習を重ねてきた。それぞれセンター国語を解く感覚が身に付いているはず。センターは「時間との勝負」という面があるので、しばらく問題を解かないと感覚がおかしくなる。センター国語を解く「感覚」を保つための調整として、センター予想問題を二日に一度、計五回解く。最近、大学入試改革に向けて、新傾向の問題が毎年出ているので、それに対応した問題をみんなで解こう。

数学

センター試験前、残りの日数が気になる時期の課外なので、多くを望みすぎないことです。

数学は講座制の延長と考えてもらい、毎回の演習の中で自分が忘れていた知識や解法などをチェックすることと、センター本番に向けての予行演習と思ってOK。できるはずの問題を取りこぼさないようにすることが最優先事項です。できない問題を解決する前に、できるはずの問題が何故できなかったのか。どうすればできるようになるのか。そこに力を注ぎましょう。くれぐれも得点の浮き沈みに一喜一憂しすぎないことです。一回一回を本番モードで真剣勝負を繰り返し、本番では「いつも通り」という感覚でできるくらいの精神状態を目指しましょう。

英語

さあ、総仕上げの実戦トレーニングのときです。本番を想定した、筆記80分演習、リスニング30分演習で、自分のベストの解き方を確認しましょう。課外の回数は限られていますので、毎回本番と同じ集中力を持って、臨みましょう。時間配分など何かうまくいかないときは、勇気をもって工夫することも必要。本番の直前まで、トライ&エラー&リトライです！復習にも力を入れてください。ここから先は、自分の『弱点補強』がどれだけできるかがカギ。特に、語彙・文法事項は、最後まで怠らないこと。最後に笑うのは、最後まであきらめず努力し続けた人ですよ。

物理

問題演習を繰り返し、基本事項の確認をしましょう。一見難しい問題でも、全て基礎の組み合わせです。間違えた問題があれば、教科書に戻りましょう。それがあなたの基本の「抜け」です。最低限の公式を覚えることはもちろんですが、原理や法則の考え方をしっかりと理解をして定着させましょう。

化学

まずセンター対策の単元別問題集を最低2回は解いて仕上げましょう。

生物

各自：忘れている基本事項や用語をめんどうがらずに空いているスペースに何度も書き込んで復習。

演習：時間配分を考えて、実験問題は問題文を読みながら内容を整理する習慣で時間短縮→思考時間の確保。図録がぼろぼろになるまで読み込む。

地歴・公民

とにかく基礎基本をおさえよう。時間の余裕のない現役生は基本的事項をしっかりおさえること。問題演習をすると、基本的なことがまだまだできていない感じがします。逆に言えばまだのびしろがあるということ。どこまでが基礎なの？と思ったら教科書を見よう。

■第二学年

国語

・テキスト　尚文出版『物語による文法の演習〈敬語・識別編〉』
・参考資料
日栄社『新・要説文語文法』
日栄社『集中二週間完成古典文法　識別・敬語』
三省堂『全訳読解古語辞典』
・内　容　テキストに基づいた古文読解の演習
・注　意　点　予習をしっかりしてこよう！
※学習の基本は「反復」です。頑張っていこう！

数学

数学を通してどんな力をつけたいと考えますか？公式や解法の暗記力でしょうか。目的を見失うと、好きか嫌いかで安易に判断しがちです（特に嫌いだと）。最低限度の知識は必要ですが、数学は考え方を考える練習です。

今回の冬季課外では、文系理系ともに数Bの教科書を用いたベクトルの学習を行います。何を用いるとしても、例えば、試行錯誤したり、類推したり、検証したり、理由を考えたりして、そのプロセスを生きる力に変えていきましょう。

英語

二年の冬、もう甘えているときではありません。冬季課外では、"POWER STAGE"を進めていきます。それはすなわち受験勉強です。三年生になるまでの三ヶ月間をまずは文法力を固めます。今まで培った文法力を確実なものにするための課外です。課外だけでなく、自分でも解いてみてわからないところを納得がいくまで調べたり、質問したりして自分を伸ばしましょう。来年の冬までに最低三回、なるべく五回は繰り返し解くことを学年目標とします。お互いがライバルであることを意識し、切磋琢磨して頑張りましょう！

理科

初めての模擬試験の結果はどうだったでしょうか。実際の入試では、基本事項の確認ばかりではなく、それらを使いこなす力が求められます。それに対応するためには、しっかりした土台が必要です。まずは、今まで学習した範囲（基礎科目含む）の基本事項を繰り返し復習することが大事です。そして、応用問題・考察問題にチャレンジしていきましょう。

冬季課外の理科は、主に教科書の内容（物理：熱力学、生物：遺伝）を進めます。ただなんとなく受けるのでは、力は身に付きません。大いに疑問を持ち、それを解決する積極的な姿勢を持って課外に臨みましょう。

地歴

とうとう課外で地歴の登場です。課外でやるということは、受験態勢に入ったということでもあります。既習内容の復習は何度も何度も行っていますか。まだという人は冬季課外で受験態勢を構築してください。課外も授業も日々の積み重ねが大切ですので、継続して取り組みましょう。

■第一学年

国語

冬季課外では、古文の「敬語」について集中的に学習します。敬語は、用言・助動詞と並んで、古典読解に不可欠な知識です。毎日の課外に集中し、この機会にしっかり定着させて下さい。

冬休みは短いですが、このタイミングでこれまでの丁寧な復習を心がけると、2年生になってからの学習が格段に楽になってきます。

古文…用言・助動詞をここで徹底して復習して下さい。授業で使用している「新・要説文語文法」に確認問題が載っています。それを解いてみましょう。できなかった問題はテキストの前のページに戻って、再度内容を整理して下さい。

漢文…句法を復習して下さい。特に授業の中で扱った文章を句法を意識しながら読み直してみて下さい。

現代文…冬課題のテキスト「現代文長文記述問題集」を授業で確認した読み方に倣って取り組んでみて下さい。本文とじっくり向き合って読んでいくことが大切です。

数学

冬季課外では「データの分析」の内容を実施します。昨今、様々なデータがテレビ・新聞・雑誌などに頻繁に登場するのを見てもわかるように、この内容は単に数学教材というだけでなく、今後情報化社会を生きていく生徒の皆さんにとって非常に活用の機会が多いものです。また、大学入試センター試験でも必答問題となっていますので、この課外でしっかりと基本事項をおさらいし、問題演習を重ねて実践力をつけてほしいと思います。そのためには、必ず予習をして臨んでください。ただ教室に存在しているだけの無駄な1時間とならないようにしましょう！

英語

冬季課外では「仮定法」を勉強します。英語に不可欠な要素・考え方です。『たえて桜の無かりせば、春の心はのどけからまし』のアレです。『～せば、～まし』の様な形の理解が大切なように、イメージを掴み数多くの問題演習を通し定着を図りましょう。GTECでも目の覚める（！）様なスコアを弾き出し、いかに「自己表現力の幅を広げられるか」が重要か痛感したハズ。明確な目標を有し課外に臨むこと&予習復習の徹底こそが理解度・定着度のカギ（それ以外にナニが有る？）です。英表の分厚いテキストの該当箇所を読み込んで授業に臨むべし。欠席すると自分が後で大変な目に遭います（この欄の他学年&他教科の項目からも冬の課外の重要性が分かるでしょう）。

一日総合大学

去る10月30日（火）１年生を対象に、いわき明星大学キャンパスにおいて「一日総合大学」を実施した。１・２時限で13講座に分かれて大学の授業を経験し、３時限目では新大学入試に向けての講義を受けた。

講座名	希望分野	担当教員 敬称略
体の仕組みと薬の効く仕組み －薬理学超入門－	薬学系	江藤忠洋
看護と公衆衛生学	看護系	後藤恭一
こどものリハビリテーション	健康医療科学系 （作業・理学）	北山淳
意識と無意識の心理学	教養学部 （一般心理学系統）	大原貴弘
人生ゲームの社会学	教養学部 （社会学系統）	高木竜輔
絵で見る法学入門	教養学部 （法学系統）	菅野昌史
アレルギーってなあ～に？	薬学系	村田和子
子どもと遊び	看護系	河田眞理子
PPKと運動機能	健康医療科学系 （作業・理学）	藤原孝之
ロボット工学とプログラミング	教養学部（工学系統）	高橋義考
「こころ」の調べ方 ～心理学実験のはなし～	教養学部 （一般心理学系統）	末次晃
ＡＩ（人工知能）ｘ ロボット ｘ ビッグデータで 激変する2020年のビジネス社会	教養学部 （経営学系統）	大嶋淳俊
みんな違ってみんないい！ ～人の心のお話し～	教養学部 （臨床心理学系統）	大島典子
新大学入試に向けて	入試改革	七島良雄

来春から「医療創生大学」に

いわき明星大学が名称変更

いわき明星大学は、来年四月から「医療創生大学」と名称を変更すると発表した。健康医療科学部の設置が認可され、既存の薬学部、看護学部と合わせ医療系の人材育成に特化することから、「新しい医療に対応できる医療人材を創（つくり）だす」として「医療」を冠した。

同大学は来年度から教養学部の学生募集を停止し、新たに健康医療科学部を設置。新学部は、作業療法学科（定員四〇人）と理学療法学科（同六〇人）で、県内の四年制大学では初めて。二〇二〇年度以降、定員四〇人の臨床心理学科（仮称）の設置を申請する。

山崎洋次学長は「東日本大震災の影響もあって、医療従事者が少ない。医療人材の供給源として貢献したい」と話した。

（朝日新聞　九月五日より）

冬季休業中から大学入試センター試験までの予定

			行　事	1学年	2学年	3学年
12	18	火		全校集会		
	19	水		冬季課外①		
	20	木		冬季課外②		
	21	金		冬季課外③		
	22	土		冬季課外④		
	23	日	天皇誕生日			
	24	月	振替休日			
	25	火		冬季課外⑤		
	26	水		冬季課外⑥		
	27	木		冬季課外⑦		
	28	金	御用納め			学習会
	29	土				学習会
	30	日	(学校閉～1/ 3)			
	31	月				
1	1	火	元日			
	2	水				
	3	木				
	4	金				センタートレーニング
	5	土				センタートレーニング
	6	日				
	7	月				冬季課外⑧
	8	火				冬季課外⑨
	9	水				冬季課外⑩
	10	木	授業開始	学力診断テスト		
	11	金				
	12	土		土曜課外⑥		土曜課外⑬
	13	日		土曜課外⑦		土曜課外⑭
	14	月	成人の日			
	15	火				
	16	水				
	17	木				
	18	金				センター試験事前指導
	19	土		進研模試（記述）		大学入試センター試験
	20	日				大学入試センター試験
	21	月				センター試験自己採点

※赤本部屋は、冬休み中も年末年始休業日以外の月～金は使用できます。